

市民が支える救急医療。

福岡県 救急の日の つどい 2010



日時

9月5日 日
13:30~16:40

場所

伊都文化会館
(糸島市前原東2-2-7)

入場無料

ご来場の方に粗品を進呈します。

❖第一部

- 13:00 ⇒ 開場
- 13:30~13:45 ⇒ セレモニー
- 13:45~14:00 ⇒ 救急医療関係功労者知事表彰
- 14:00~14:30 ⇒ アトラクション 落語 立川生志
- 14:30~15:30 ⇒ 講演「災害対応のためのレスキューロボット技術」
田所 諭 (たどころさとし)
東北大学大学院 情報科学研究科 応用情報科学専攻 教授

❖第二部

- 15:40~16:40 ⇒ 救急講習 講師:糸島市消防本部救急隊
内容・一般/小児に対する心肺蘇生法(人工呼吸・胸骨圧迫)
・AEDの使用方法・大出血、熱傷、骨折時等の応急処置・定員:60名
※要事前申し込み(裏面FAX申込書にてお申し込みください。)

[主催] 福岡県・福岡県医師会・福岡県メディカルセンター
糸島地域救急の日のつどい実行委員会



入場をご希望の方

事前申込にて入場整理券を順次発送致しますので、代表者の住所・氏名、電話番号、入場希望人数を明記の上、下記宛先までハガキかFAXでお申込み下さい。*定員になり次第、受付終了。満員の際は入場をお断りすることがあります。

[お申込み・お問い合わせ]

社団法人 糸島医師会 〒819-1112 福岡県糸島市浦志532-1 TEL092-322-3638 FAX092-324-4491



立川生志

本名：赤木進
1963（昭和38）年12月16日生まれ
福岡県筑紫野市出身

1986年 福岡大学人文学部卒業後、株式会社INAXに入社、営業マンとなる。
1988年 株式会社INAXを退社。7月、立川談志の門をたたき入門、「笑志」拝名。
1997年2月 ニツ目昇進。
2008年4月 真打昇進。立川生志に改名。

主な受賞歴

1994（平成6）年度 日刊スポーツ新聞社主催『にっかん飛切落語会』努力賞 受賞
1995（平成7）年度 日刊スポーツ新聞社主催『にっかん飛切落語会』若手落語家奨励賞 受賞
1996（平成8）年度 日刊スポーツ新聞社主催『にっかん飛切落語会』若手落語家奨励賞 受賞
1999（平成11）年度 日刊スポーツ新聞社主催『にっかん飛切落語会』若手落語家奨励賞 受賞
2001（平成13）年度 日刊スポーツ新聞社主催『にっかん飛切落語会』若手落語家奨励賞 受賞
2002（平成14）年度 『NHK新人演芸大賞』審査員特別賞 受賞
2002（平成14）年度 『彩の国落語大賞』殊勲賞 受賞
2002（平成14）年度 日刊スポーツ新聞社主催『にっかん飛切落語会』優秀賞 受賞
2003（平成15）年度 『彩の国落語大賞』技能賞 受賞
2003（平成15）年度 日刊スポーツ新聞社主催『にっかん飛切落語会』日刊スポーツ特別賞 受賞
2008（平成20）年度 『彩の国落語大賞』受賞
2009（平成21）年度 『横浜文化賞賞文・芸術奨励賞』受賞

主な独演会

立川生志らくごLIVE『ひとりブタ』 シリーズ（東京、横浜、名古屋、大阪、広島、福岡）
立川生志独演会『生志のにぎわい日和』（横浜にぎわい座）

テレビ・ラジオ番組への主な出演

- NHKテレビ/『爆笑オンエアバトル』 ●日本テレビ/『笑点』『ぶらり途中下車の旅』
- TBSラジオ/『ミュージックキャラバン』 ●北日本放送ラジオ/『4時間生ワイド 笑志・恭子の快傑にちようび』 ●RKBテレビ/『夕方どどん 笑志千万!たび日記』
- RKBラジオ/『立川笑志 はだか一貫金曜日』『立川笑志 今夜はかなりE』『オトナの学校』
- BS日テレ/『BS笑点』

現在

日テレプラス/『笑点Jr.』出演中



田所諭 (たどころさとし)

1960年生まれ
東北大学大学院 情報科学研究科
応用情報科学専攻 教授

東京大学工学系大学院精密機械 工学専攻修士課程修了、博士（工学）
1993年神戸大学工学部情報知能工学科助教。1997～1998年ドイツフンボルト財団在外研究員
1999年ロボカップレスキューを創設。2000年計測自動制御学会SI部門レスキュー工学部会創設、初代主査
2001年IEEE RAS TC on Safety, Security and Rescue Robotics創設、初代Co-Chair
2002年特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構設立、会長、現在に至る
2005年より東北大学大学院情報科学研究科教授
2002年～2007年文部科学省大都市大震災軽減化特別プロジェクトレスキューロボット等次世代防災基盤技術の開発研究代表者
2006年～2010年NEDO戦略的先端ロボット要素技術開発プロジェクト被災建造物内移動RTシステム（特殊環境用ロボット分野）閉鎖空間内高速走行探査群ロボット研究開発代表者
2003-2005年、IEEE Robotics and Automation Society Japan Chapter Chair。2005-2010年、The RoboCup Federation理事
2007-2008年計測自動制御学会理事。2008-2010年、IEEE Robotics and Automation Society理事。2009年、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門部長
1993年油空圧機器技術振興財団賞、2000年人工知能学会奨励賞
2002年および2007年日本バーチャルリアリティ学会論文賞、2005年日本機械学会フェロー
2005年同学会ロボティクス・メカトロニクス部門学術業績賞、2007年同学会船井賞
2008年消防自治体制度60周年事業消防庁長官表彰最優秀賞、「今年のロボット」大賞優秀賞、2009年IEEE Fellow、など受賞
レスキューロボット、バーチャルリアリティ、ニューアークチュエータの研究に従事

著書として「ロボット制御の実際」（コロナ社）、「ロボカップレスキュー、緊急大規模災害救助への挑戦」（共立出版）「Springer Handbook of Robotics」（Springer）、「Rescue Robotics」（Springer）など

第二部 救急講習 FAX 申込書

◎代表者の必要事項を記入してください。

2010年 月 日

団体名 または グループ名	フリガナ	代表者又は 団体・組織の 住所	〒	-	
代表者 お名前	フリガナ	E-mailアドレス または ファックス番号			
	参加人数 計	名/年齢	才	電話/携帯	- -

◎代表者（上記）以外の参加者のお名前、年齢（学年）をご記入ください。

1	代表者	フリガナ	年齢	才	4
			学年	年	
2		フリガナ	年齢	才	5
			学年	年	
3		フリガナ	年齢	才	6
			学年	年	

申込先

第二部 救急講習へのご参加は、上記必要事項をご記入の上、8月25日（水）までにFAXにてお申し込みください。
お問い合わせにつきましては、お電話にてご連絡ください。

FAX 092-324-4491

■お問い合わせ先 / 社団法人 糸島医師会 TEL092-322-3638

※応募多数の場合、会場の都合上、先着順となる場合がございます。その場合は、ご連絡を差し上げます。予めご了承ください。
※個人情報保護により、この目的以外での利用・第三者への提供はいたしません。